

第2章 部門基本計画 1

自然と共生するエコタウンの構築

～みんなで築く循環社会の形成～



環境にやさしい循環社会 の構築と生活衛生の向上

基本方針

3R（廃棄物の抑制・再生・再利用）の推進は国民の責務です。

そこで、快適な生活環境を実現するため、毎日排出されるごみや不法投棄・ペット動物の糞尿等の環境マナーについて市民一人ひとりが関心をもつ「環境志民」となり、より一層のごみ減量化を目指します。

また、リサイクルの推進については、現在の21品目の分別に加え、生ごみの資源化についても早急に実現させ、「ごみゼロ」の宇城市を構築します。

さらに、市民の墓地需要を適宜把握しながら、今後の整備の必要性を検討していきます。

現状と課題

宇城市は、近隣他都市と比較して、人口あたりごみ収集量が少なく、リサイクル資源回収量が多いため、3Rは相対的に進んでいるようです。

しかしながら、定期的に環境教育、セミナー等を開催していますが、経年比較した場合にごみ収集量や不法投棄の抑制につながっていないなど、市民一人ひとりが環境に対する意識を高め、「環境志民」としての役割を担うには至っていない状況です。

また、リサイクルの推進については、平成19年度から市内全域コンテナ回収による分別収集を行うとともに、堆肥化容器の購入補助による生ごみの減量化を図っていますが、「ごみゼロ」の宇城市を目指すためにはさらに「生ごみのリサイクル」が課題です。

今後のさらなる高齢化や市外からの転入者を見据えた場合、現在設置されている墓地で必要十分なのか、検討する必要があります

指標

指標名	実績値			目標値
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成26年度
もやすごみの量	14,063 t	14,742 t	14,506 t	13,055 t
リサイクル処理量	2,050 t	2,384 t	2,231 t	2,008 t



今後の取り組み

1 生ごみのリサイクル

可燃ごみの約40%を占める生ごみのリサイクルを推進するための「宇城市バイオマスタウン構想」に基づきごみ減量化事業に取り組みます。

主な事業 ・宇城市バイオマスタウン構想策定に基づくごみの減量化事業

2 ごみの減量化

家庭から出るごみの減量化を図るため、マイバッグの持参運動推進、ダンボールによる生ごみの堆肥化の普及、各種リサイクルの取り組み推進を図ることに加え、引き続き電動生ごみ機の補助を行います。

主な事業 ・ごみ減量化事業
・マイバッグ持参運動

3 3Rの推進

ごみをできる限り廃棄しないよう「分別収集の徹底」や再利用されたものでも再生資源として再利用するよう3Rの推進を図ります。

主な事業 ・宇城市リサイクル回収事業

4 環境に対する市民意識の向上

市民一人ひとりが「環境志民」としての役割を担うことができるよう、広報、環境教育、セミナー等を開催します。

主な事業 ・環境志民セミナー
・広報うき

5 墓地建設の検討

今後のさらなる高齢化や市外からの転入者を見据え、現在の墓地の設置状況を把握するとともに、墓地建設の必要性の有無を調査します。

主な事業 ・墓地設置状況調査事業

まとめ

宇城市

ごみゼロの宇城市を目指し、
ごみ減量化と意識向上の取り組みを
推進します。



一人一人が
もっともっと
エコライフばい

豊かな自然を生かした 環境共生都市づくり

基本方針

緑豊かな山々や美しい川、青い海を守り育み、多様な動植物が生息・生育できる自然環境がかけがえのないものあることを実感できる豊かな心を育む自然とのふれあいを大切に、自然と共生するエコタウンの構築を推進します。

また、花のまちづくり運動のさらなる推進により、花と緑あふれる潤いのある環境と、美しく心やすらぐまちづくりを進めます。

現状と課題

都市化の進展や生活様式の変化により、自然環境との関わりが薄れつつある近代において、花や緑との関わりを広げることがきっかけとして、自然との共生を生かしたまちづくりに努める必要があります。



指標

指標名	実績値			目標値
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成26年度
市民意識調査満足度 (豊かな自然を守るまち)	—	—	51.5%	55.0%

今後の取り組み

1 環境基本計画の推進

環境基本計画を策定するとともに、策定後の計画の適切な進捗管理を図ります。

主な事業 ・ 環境基本計画の策定・進捗管理の実施

2 花と緑の快適空間の創造

公共施設等の緑化を推進し、花と緑に囲まれた環境を育みます。

市民が気軽に憩える、緑豊かで身近な公園等の整備を推進します。

花壇管理団体など、市民と一丸となった花いっぱいのもちづくり運動を推進します。

花をテーマにしたイベント等を開催し、花や緑とのふれあいの機会を創出します

主な事業 ・ 庁舎駐車場緑地帯植樹の実施
・ 公園管理事業 ・ 花のもちづくり運動の実施
・ 花のバスツアー・フラワーフェスタ他各種イベントの開催

3 美しい都市景観の形成

植栽などの歩道の整備により、道路景観の向上を推進します。

景観に配慮した工法等により、美しい景観づくりを推進します。

主な事業 ・ 道路改良事業
・ 街なみ環境整備事業

4 豊かな自然の保全と再生

不知火海・有明海沿岸に漂着・堆積するごみ等の除去・清掃活動により、海域環境の保全と再生を推進します。

主な事業 ・ 漂着ごみ撤去等の実施

5 生物多様性の確保

野生生物の保護に努め、有害鳥獣の適切な駆除を図り、多様な生物が生育・生息する空間の保全と再生を推進します。

河川改良などの治水対策において、動植物の生息・生育環境に配慮した工法等により生態系の保護に努めます。

在来種の保護推進のため、外来種の除去等に努めます。

主な事業 ・ 有害鳥獣対策の実施 ・ 河川改良事業
・ 空き地等の適正な管理指導の実施

まとめ

宇城市

基本計画に基づき、人も生物も快適に暮らせるよう整備を推進します。



自然あふれる
心やすらぐ
まちづくりを
するばい

地球環境問題への対応

基本方針

地球温暖化問題は、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題であることを認識し、未来のこどもたちに誇りを持って受け継ぐことのできる地球環境を守るため、地球温暖化の防止に努めていきます。

また、省エネルギーや自然エネルギーの利用促進及び意識啓発を推進し、熱帯林の減少や途上国の公害問題など海外の問題を身近な問題として受け止め、国際協力など地域からできる地球環境保全への貢献活動を推進します。

現状と課題

地球温暖化の防止は、地球規模という大規模な問題であるため、市民一人ひとりがなかなか取り組みにくいものです。しかしながら、小さな規模でもできることから

コツコツと積み重ねていくことも大切であり、すべてのひとが自主的かつ積極的に取り組むことが重要です。

指標

指標名	実績値			目標値
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成26年度
公用車へのエコカーの導入・活用台数	—	2台	3台	5台
アイドリングストップ宣言事業所数	—	40件	39件	50件
市民意識調査満足度 (市民一人ひとりが省資源・省エネに取り組むまち)	—	—	4.6%	15.0%

今後の取り組み

1 地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策実行計画を策定するとともに、策定後の計画の適切な進捗管理を図ります。
自動車の適正使用や啓発活動により、温室効果ガス排出低減対策を推進します。

- 主な事業** ・地球温暖化対策実行計画の策定・進捗管理の実施 ・グリーン購入の普及推進 ・ノーカーデーの実施
・アイドリングストップ宣言事業所登録の推進

2 省エネルギー・自然エネルギー利用推進

公共施設における太陽光発電等の導入や環境配慮型自動車の購入等により、省エネルギーや自然エネルギーの利用を推進します。

市民や事業者への省エネルギーや自然エネルギーの意識啓発を推進します。

- 主な事業** ・公用車のエコカー等の導入・活用の実施 ・省エネルギー対策補助事業の推進

3 国際的視野での環境貢献活動の推進

日常生活で使用する紙や木材等の原料生産地などに関心を持ち、熱帯林の減少との関連や地球環境との関わりについて意識を高め、資源保護のための環境活動を推進します。

- 主な事業** ・マイ箸運動の実施

まとめ

宇城市

温室効果ガス低減対策を推進し、地球規模の環境貢献の意識啓発をします。



未来の子供
たちの地球環境
をかんがえて
いくばい

部門基本計画 協働による 環境活動の推進

基本方針

環境教育・学習等の推進により、環境にやさしい心と実行力を持った人づくりを進め、市民・事業者・市が連携し、協働で築く環境に配慮した環境活動を展開します。

また、かけがえのない豊かな自然とのふれあいを大切に、美化活動等による景観の維持・向上に努めます。

現状と課題

市民一人ひとりの力だけでは解決しがたい環境問題がおきる中、個々が環境への配慮を実践するためには、自ら

が環境の諸問題に関心を持ち、協働のもと環境教育・環境学習、環境保全活動に取り組む必要があります。



指標

指標名	実績値			目標値
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成26年度
市内一斉美化運動（1年間累計）	—	18,456人	17,478人	20,000人
市民意識調査満足度 （環境に対する市民の意識が高いまち）	—	—	4.6%	15.0%

今後の取り組み

1 環境教育・環境学習の推進

地域や教育現場において、環境について学ぶ場の創出や環境学習を積極的に推進し、地域環境リーダーや環境ボランティアなど人材育成に努めます。

主な事業 ・家庭教育学級の実施 ・環境問題教育の実施 ・生涯学習講座の実施 ・こどもエコセミナーの実施
・環境教育人材育成の実施

2 自然とのふれあいの促進

より多くの市民が自然にふれあうことのできる空間や機会の創出を図り、ふれあい活動を充実します。

主な事業 ・ふれあい農園開放の実施 ・宇城っ子のつどいの実施 ・集団宿泊教室の実施 ・自然環境活動の充実

3 環境美化の推進

まちの美観向上を図るため、地域との連携のもと環境美化の推進に努めます。

主な事業 ・市内一斉美化運動 ・放置自転車の撤去

まとめ

宇城市

市民、事業者、市が連携し、環境景観の美化、維持、向上に努めます。



みんなで力をあわせて、環境活動をするばい

memo